

## 令和6年度 けが・病気の状況

大阪府立茨木支援学校 保健室

## 1. 保健室の利用状況

今年度の4月～12月の保健室利用件数は460件（表1）であった。学校保健委員会に向けての準備の都合上、昨年度より12月までの件数を挙げている。

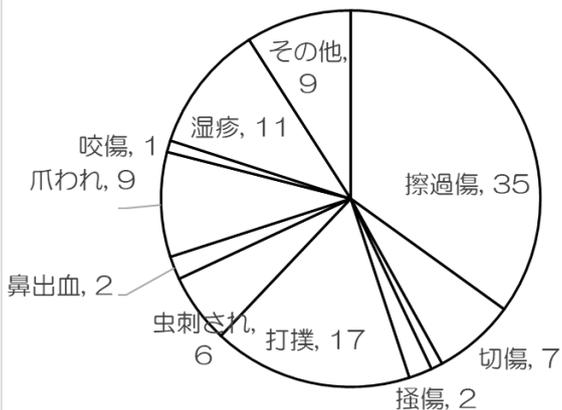
昨年度と比べて外科的主訴、内科的主訴件数の減少がみられる。一方、ベッド利用数は増えている。軽微な風邪症状であれば登校する場合がある等、登校後に発症したり、症状が悪化したりという状況が背景にあると考える。

また、登校時と昼休憩時に検温を含めた健康観察を行い、不調者の早期発見と早期対応に努め、校内での感染拡大予防の一環を担っていると考える。ほけんだよりでは、感染症対策の重要性等を発信し、感染症の流行前に感染予防対策の意識づけに努めた。

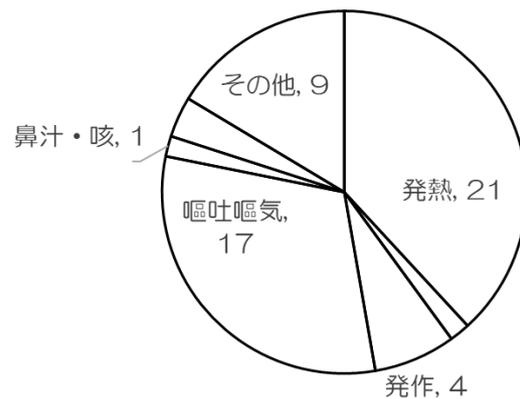
表1 保健室利用件数

	R6年度	R5年度
外科的主訴	288	365
内科的主訴	172	272
総利用数	460	637
ベッド利用件数	77	71

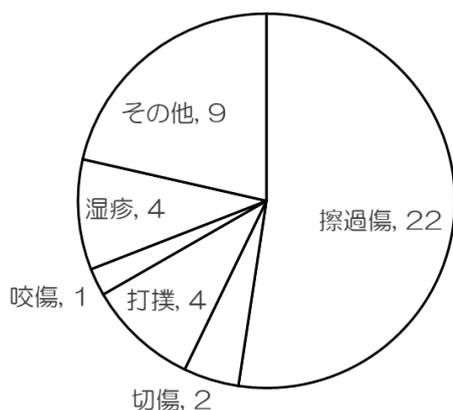
小学部 外科的主訴 129件



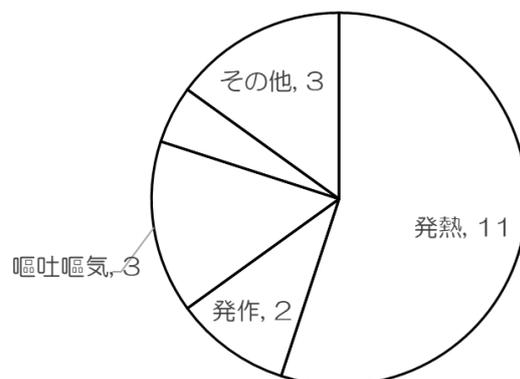
小学部 内科的主訴 111件



中学部 外科的主訴 79件



中学部 内科的主訴 64件



高等部 外科的主訴 157件



高等部 内科的主訴 97件



### (1) 外科的主訴について

外科的主訴として、全学部で擦過傷、打撲が多かった。その他の内容についてはかさぶたが剥がれたことによる出血、口腔内出血、眼の充血など様々であったが、軽微なものがほとんどであった。けがの内容については、家庭と情報共有をしながら、家庭で経過観察を依頼する等の対応を行った。

高等部生活課程では、サッカーやバスケットボール等の球技や持久走等の陸上競技にも取り組んでいる。そのため、体育の授業中に打撲等が発生しており、病院受診が必要なケースもあった。

### (2) 内科的主訴について

内科的主訴として、全学部で発熱が最も多かった。続いて小学部、中学部、高等部普通課程では、発作、嘔吐・嘔気が多かった。高等部生活家課程では、頭痛、気分不良を訴える生徒が多かった。その他の内容については、SpO2 値低下、喘鳴、頻脈等があった。保健室で休養した後には、授業に戻って過ごすことができる場合や、早退して自宅療養や病院受診する場合もあった。また、てんかん発作の重積や呼吸状態の悪化により、緊急性が高いと判断した場合には保護者や管理職との相談のもと、救急搬送したケースもあった。緊急対応について、医師の指示がある場合は、指示に従い対応している。

### (3) 緊急時に使用する薬の使用について

今年度、校内で緊急時に使用した薬（坐薬）は2件であった。両ケースとも意見書に基づいた緊急対応チャートを活用してスムーズに対応することができた。使用后、保護者迎えにて帰宅し、自宅療養となった。

## 2. 病院受診状況（学校でのけがや不調が原因のもの）

学校でのけがや不調が原因で病院受診した件数は、12月末時点で5件（昨年度8件）あった。外科的な理由で、病院受診したケースは2件で、けがの内容としては、骨折、打撲等であった。内1件はタクシーで病院受診、内1件は帰宅後に病院受診した。内科的理由で病院受診したケースは3件あった。全て呼吸状態の悪化のケースで、救急車で病院搬送した。

病院受診した場合は関係職員で振り返り、教員間での情報共有、環境整備や体制の見直し、児童生徒への指導、保護者や主治医との対応の再確認等を行い、再発防止や緊急時の体制構築に努めている。

### 3. 病気による欠席の状況

#### (1) 欠席の状況

月別一日平均欠席者数は(図1)(図2)、感染症による月別出席停止者数は(図3)の通りである。

(発熱等で病院受診後に出席停止となる感染症と診断された者の数は、発熱等風邪症状による欠席者数(図2)には含めず)

発熱等風邪症状による欠席者は、10月から増加している。学校行事の前後に、体調不良となる児童生徒が多かった。特に宿泊後や银杏祭前後で不調者が目立った。行事前後の複数回による検温等の健康観察や関係職員、保護者との情報共有を密に行い、対応に努めた。

不調による欠席者は、腹部症状(下痢・嘔吐)、頭痛、発作、その他の不調、不調による病院受診、不調による入院、などであった。その中でも「その他の不調」が最も多く、不調の内容については、休養や精神面での不調、生活リズムの乱れ等、多岐にわたるため、その都度、担任と確認し、実態把握を行ったうえで、必要に応じて対応策を講じている。

図1 不調による欠席者の月別一日平均

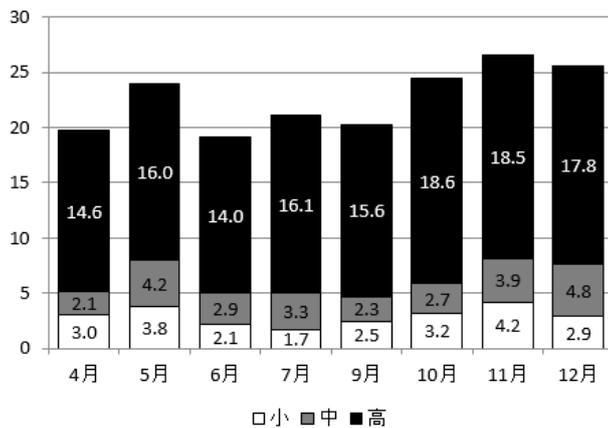


図2 発熱等風邪症状による欠席者の月別一日平均

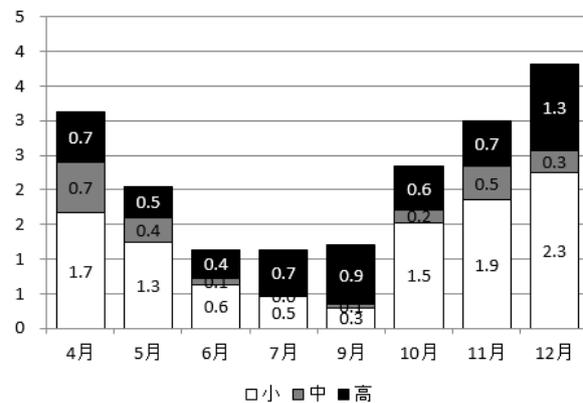
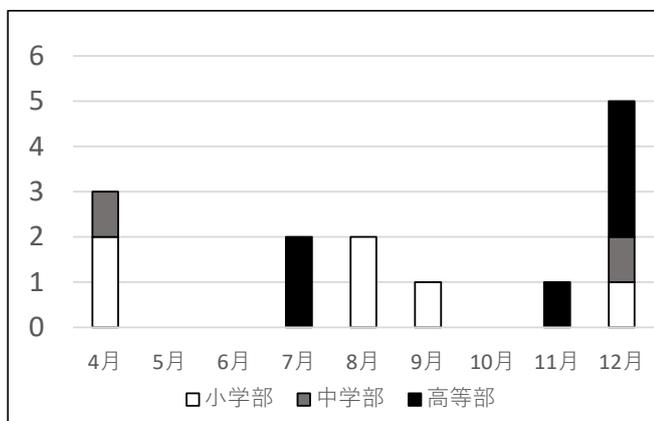


図3 感染症による出席停止



感染症による出席停止者数(図3)は14名で、インフルエンザ、新型コロナウイルス、溶連菌感染症、流行性角結膜炎の報告があった。

大阪府内でインフルエンザの感染者数が増加した12月に、本校でも同様にインフルエンザの感染者の報告が出てきた。大阪府内の感染症流行状況を随時確認(毎週木曜日更新)し、ほけんだよりにて感染症対策と併せて情報提供を行った。また、発生状況に応じた健康観察(朝、昼休憩時の検温等)を実施し校内での感染症拡大防止に役立てた。